



検索・中野あきと

みどりと清流

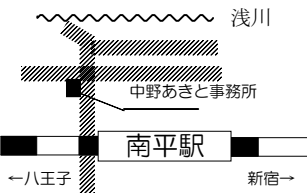
日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2018年
11月発行

第192号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



日野市のプラスチックごみ 新たな資源化と「有料化」の計画

10月15日付広報に、「プラスチック類ごみの分別収集方法が変わります」と題した記事が掲載されていました。「不燃ごみのうち8割を占めるプラごみの新たな資源化により、焼却ごみ量を削減し環境負荷を低減するため」と書かれていることに、「これは大事なことだ」と感じた方もいらっしゃると思います。私たちも提案してきたことであり歓迎しています。しかし、それだけでなく日野市は、この機会に「有料化」をしようと考えています。そのことは広報でも説明されていません。

市の説明責任はもちろん 地方自治の根本が問われる

市は8月下旬に、日野市廃棄物減量等推進審議会に対し、①プラスチック類ごみを新たに分別区分し、指定収集袋により収集する、②プラスチック類ごみの廃棄物処理手数料は有料とする、の2点を諮問し、同時に9月から1ヶ月間、パブリックコメントを実施していました。

しかし、まだ、市議会で決まっていなことはもちろん、審議会ですら審議中で答申も出されていない中で、『広報』で「分別収集方法が変わります」と、決定事項として説明するなど、審議会にはもちろん、市議会、そして何より市民に対して、断じて許されないことです。

しかもその一方で、諮問事項②の有料化の問題は説明していません。行政の果たすべき説明責任はもちろん、市民の暮らしを守り、市民の理解と合意のもとにすすめるという地方自治の根本が問われます。

市民とともに進めてきた ごみ・環境行政に逆行

2000年の『ごみ改革』のとき日野市は、「ごみは減らせば減らすほど負担が少なくてすむ」と資源ごみの分別を奨励し、それに応えた市民の努力でごみは半減してきました。

そうした方針に多くの市民が協力して現在ののごみ減量の取り組みが築き上げられてきました。

しかし、今回の計画は、その方針の大きな転換を意味し、しかも有料化による暮らしへの影響が懸念される重大な問題でもあります。

こんなやり方で押し進めることは、ごみ広域化で失った行政への市民の信頼を、さらになくしてしまふことになりかけません。



ミニバス、ワゴンタクシーなどの充実を求めて 南平、平山地域の住民が2回目の交渉



▲担当職員（左手前）と交渉する住民（正面）
右端は同席した中野あきと市議

(日野市) 来年4月から
「国保料(税)」値上げ
中止を求める署名にご協力を

「自己責任」を口実に社会保障の切り下げをねらう安倍政権。国民健康保険については、保険料を抑えるために自治体が行っている一般会計からの繰り入れを撤回せよという圧力をかけています。

日野市では、来年4月からの年5000円の値上げが明らかにされました。計画ではさらに2年ごとに値上げを実施。8年後には26000もの値上げとなります。

日野市の財政は、毎年20億円以上の黒字です。値上げの必要はありません。計画中止を求める署名にご協力下さい。

署名用紙は中野事務所まで。

短信

今も昔も理容師さんは、客との会話が大事な職業だ。白い布を掛けながら暑いとか寒いとか、大抵は気候の話から始まる。ここから客

の気分や接点を探るのだらう▼商人だった父は、出入りの職人さんたちと政治を語るのが好きだった。たばこを煙らせながらの談話だが、昔はそれを「床屋政談」などと呼んだ▼県知事選、豊見城市長選に続く那覇市長選の最終盤。政府は辺野古埋め立て承認を撤回した県への対抗処置を、無法な手口で強行。結果、市長選は惨敗した。冷たいものである。官邸は政権とのパイプ役を担ってきた市長候補を引退させ、県連会長は引責辞任となった▼沖縄での3連敗以降、官邸は余裕を失い、政権の手法が切羽詰まっている。床屋政談にも弾みがつかうというものだ。右打者ばかり並べた身内内閣。そんな人たちが固めざるを得ないところに政権の深刻さがある▼始まった臨時国会。首相は甲高い声で改憲案の国会論議を求めた。しかし野党は一斉に批判。自民も党内に矛盾を抱え、公明も足がすくんでいる。それでも「この機会を逃すな」と、首相と強硬派は構えを崩していない▼どうしたら安倍政権を倒せるのか。床屋政談での主題でもある。それはひとえに野党の『本気の共闘』にかかっているのではないか。魅力ある共通政策。本格的な相互支援こそ倒閣の力となる。(K)

日本共産党が政策発表 高すぎる 国保料引き下げ

国民健康保険は、国民の4人に1人が加入し、国民皆保険制度の重要な柱となっています。いま、全国で高すぎる国保料をめぐる「払いたくても払えない」世帯が続出。暮らしを苦しめるだけでなく、国民皆保険制度の根幹を揺るがす事態となっています。この危機を打開し、公的医療保険として国保制度を立て直すことが急がれます。

全国知事会などでも強く要望している、公費の投入で保険料を引き下げることが必要です。今回の日本共産党の政策も、全国知事会の要求する「1兆円の公費投入」に基づき立案、保険料をおおよそ半額にすることができま

- 高すぎる国民健康保険料（税）を引き下げ、住民と医療保険制度を守ります（概要）**
- 2018年11月1日 日本共産党
- ①高すぎる国保料（税）を中小企業の労働者が加入する「協会けんぽ」並みに引き下げる。
 - ②国による保険料免除制度をつくる。
 - ③無慈悲な保険証取り上げや強権的な差し押さえをやめる。
 - ④安倍政権による「国保都道府県化」を利用したさらなる保険料引き上げを許さない。



▲多摩平に行くパレードの隊列

戦争いやだ。9条守れ！
11月4日行われた日野市民によるピースパレードは、300人を超える参加で成功しました。

国保料（税）がなぜ高いのか

国保料（税）が、協会けんぽなどの被用者保険と比べて著しく高いのは、国保にしかない「均等割」「平等割（世帯割）」という保険料算定に主な要因があります。

被用者保険の保険料は、収入に保険料率をかけて計算するだけで、家族の人数が保険料に影響することはありません。ところが国保料（税）は、所得に保険料をかける「所得割」、固定資産税の額に応じてかかる「資産割」のほかに、世帯員の数に応じてかかる「均等割」、各世帯に定額でかかる「平等割」を合算して算定されます。

今回の日本共産党の政策では、「均等割」「平等割」を廃止し、協会けんぽ並みに引き下げます。

違法なごみ搬入路を許すな！ ◇◇裁判官が現地を視察◇◇



▲視察を見守った市民

10月31日、いなげや万願寺店近くの現地を裁判官が視察。この日は約80人の市民が集まり視察を見守りました。

2016年10月、96人の市民が原告となって「北川原公園を台なしにするな」「違法なごみ搬入路は許さない」と、日野市を相手取り東京地裁に提訴しました。原告の市民は口頭弁論が行われるたびに、マイクロバスを仕立てて霞が関まで傍聴に出かけてたかっています。

社会福祉法人「すすかけの家」でバザー



11月3日、日野市南平の「すすかけの家」のバザーが行われました。中野あきと市議も関係者と交流しながら買い物を楽しました。



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

◎本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

《ちょっとひと息》

日野七福神めぐり ③延命寺・寿老尊



本尊は延命地藏菩薩。所在地は川辺堀之内595。東豊田の善生寺からは豊田小東交差点付近の豊田用水に沿って歩くのが最適。堀ノ内緑道を経て延命寺前に前に着く。いっそ浅川堤防に出て、こんもりした森の日枝神社を目印に裏手から延命寺境内に入るのも一興。

■中野あきと事務所便り 年金相談コーナー開設しました

仕組みや手続きが分かりにくい年金問題。お悩みや問題をお持ちの方は中野事務所へどうぞ。年金に詳しいスタッフが対応致します。取りあえずお電話下さい。

《次回無料法律相談》

日野市役所6階共産党控室 午後1時～3時

12月13日（木）

※予約が必要です。

中野あきと事務所まで ☎042-599-3350